

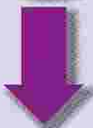
順路



古四王
神社



池田氏
庭園



払田柵跡



坂本
東嶽邸



古四王神社 (大曲市)

室町時代末期に造られた社殿です。

富樫家文書によると元亀元年(1570年)に当時の大曲城主富樫氏が建立したと記され、県内でも古い建物の一つです。飛騨古川(現岐阜県古川町)の匠によって造られ、内部には菊や藤の浮彫が華やかに施されています。また、屋根下の組み物は1本の釘も使用せず木材の組み合わせにより重量感ある屋根を支えています。昭和25年国の重要文化財に指定されました。



池田氏庭園 (仙北町)

奥羽三大地主の一つに数えられ、明治から昭和時代にかけて県の政治、経済、文化に大きく貢献した池田家の庭園です。

12,300坪の広大な敷地には中央部におしくも焼失した主屋と5棟の蔵が造られ、その西側に池泉を持つ主庭があります。流水式の池や石橋、灯籠からなり、特に雪見灯籠は笠の直径が3.9mと巨大で一際目をひきます。また、敷地内には大正11年に竣工された2階建ての白亜の洋館が現存し、庭園をいっそう引き出させています。平成16年国の名勝に指定されました。

払田柵跡 (仙北町)

9世紀に創建された古代の役所跡と考えられています。昭和49年から県教育委員会により学術調査が行われ、政庁とよばれる中心的な建物跡や柵列、築地、門などが発見されました。現在は外柵の一部と南門などが復元され周辺の整備も進み往時の壮大な様を感じ取ることができます。

坂本東嶽邸 (美郷町)

経済界、政界を通じ郷土の発展に尽くした坂本家の旧邸です。特に坂本理一郎(東嶽)は明治・大正時代に県議会議員・衆議院議員として郷里の復興に努め、小学校の建設、道路の建設、公園の造成などをおこない町づくりの基礎を築きました。また、理一郎は文人としても知られ文人墨客を招いて漢詩が良くおこなわれました。

家屋と庭園は平成4年に遺族により町に寄贈されたものです。

見えてきます。ここを右折し、田園地帯を走り、仙北町役場横の十字路を西方向に走るとまもなく右手に立派な薬医門が見えてきます。それが池田家です。邸宅入口で門をくぐると並木道が長く奥へ続いています。庭園は静寂そのものですが、居並ぶ蔵や一際目につく白亜の洋館はかつての奥羽三大地主としての繁栄ぶりを充分にうかがうことができます。

池田家邸宅を囲む鬱蒼たる林をあとに道を戻り、払田柵跡に向かいます。美郷町(旧千畑町)方向に車で約15分、やがて左手に大きな門が見えてきます。払田柵跡の復元された南門です。門から一直線に丘に向かって道が伸びています。丘には当時の中心的建物の政庁があり、建物跡が平面表示されています。眼下に開ける眺望も見事で、晴れた日には遠く鳥海の山をのぞむこともできます。

柵跡前の県道を南に向かうとまもなく立派な松並木が見えてきます。旧千畑町の中心街で、並木通りに建てられた小学校前を右手に折れると坂本東嶽邸です。重厚な作りの邸宅と庭園は池田家とはまた違った趣があります。



坂本東嶽邸



払田柵跡